

礼拝の後、お茶を飲んでみんなと話をする。この日は、ティラミスを作ってきた人と草もちを買ってきた人がいて昼食のように食べ物が多かった。12時30分過ぎに帰宅すると、夫が「昼は？」と聞くが「もういっぱいみたい」と答えると、EUさんにはたこ焼きを買ってきてくれたので半分食べた。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：キリスト教会の信徒による送迎（20分）、夫による買物（10分）

2004年1月19日（月）

#### ピアカウンセラーの定例会

この日は、月に1度のピアカウンセラーの定例会（相談日でもある）である。夫が買物に出ている間に、予定より早く支援センターのNさんが迎えに来てくれたので、部屋に上がってもらい、持って行く物の用意とベルト（車イス用）などの装着をしてもらった。事業所のリフト車で出かける。

16時30分より、福祉センターの1室で会議を開く。ピアカウンセラー3人、スタッフ1人、手話通訳2人の参加であった。お互いの活動状況の確認や、全国の情勢についての情報交換、福祉制度やサービスについての勉強、プログラムの企画や反省などを行っている。

終了後、リフト車で18時に帰宅する。帰る時間が不確かなので、買物のメモをしておいて、ヘルパーに先に買物をしておいてもらった。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる家事援助（1時間）、身体介護（30分）

支援費以外の社会資源：支援センター職員による外出準備（5分）、送迎（40分）

2004年1月20日（火）

#### 訪問看護とヘルパー実習生の訪問

9時に訪問看護師が訪問する。夫が外出したので、玄関にカギをかけて入浴する。先日、夫と口論したことを話すと「ウチもそうだ」とエピソードをお互いに話して大いに盛り上がる。本を借りる。

11時にヘルパーと実習生（女性）が来訪する。天気が良いので布団を干してもらう。毛布のカバーも取り替えてもらう。女性の実習生なので、トイレ介助もしっかり見学してもらう。男性の場合はリフト操作のみの実習となる。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる家事援助（1時間）、身体介護（30分）

支援費以外の社会資源：訪問看護ステーションによる訪問看護（2時間）

2004年1月21日（水）

#### 外出予定のない日

この日は外出の予定も忙しい用事もないので、久しぶりにのんびりした気分になれた。ヘルパーの支援を受けながら、ゆっくり夫と過ごし、パソコンでイラストを描き、ピアカウンセリングの記録用紙の記入などしながら自宅で過ごした。「この用紙を書いてきた1週

間は、いつもよりスケジュールがつまっていたので“忙しい人だ”と思われるのも恥ずかしい気がする。普通はもっと暇です」とケース記録の最後に EU さんは記述している。

(3) EUさんが1週間に利用する社会資源 (2004年1月15日～21日の場合)

1) 社会資源の種類別にみる所要時間の内訳

種類 曜日	支援費による社会資源				支援費以外の社会資源	
	デイサービス	身体介護	家事援助	移動介護	夫	その他
木曜	デイサービス	A 1時間 30分	A 1時間		17分	
金曜		A 2時間	A 2時間	A 1時間	11分	教会信徒 10分
土曜		B 1時間 30分	B 2時間		17分	支援センター1時間 20分
日曜		B 2時間			24分	教会信徒 20分
月曜		A 2時間	A 1時間		29分	支援センター45分
火曜		A 2時間	A 2時間		16分	
水曜		A 2時間	A 1時間		11分	
合計	1日	13時間	9時間	1時間	2時間5分	2時間35分
備考	身体介護については30分単位で受けている。				夫の介助については、1分単位で1日の全体に分散している。	

注) 上記の文章および表は、EUさん本人が記入した「ケース記録用紙」から作成した。

2) 1週間のスケジュール

	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日
0:00							
30							
1:00							
30							
2:00							
30							
3:00							
30	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
4:00							
30							
5:00							
30							
6:00							
30							
7:00							
30							
8:00	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護
30	夫	夫		夫		夫	夫
9:00			夫				
30							
10:00		訪問看護 入浴介助			夫	訪問看護 入浴介助	
30				キリスト教会			
11:00						家事援助	
30							
12:00	デイサービス	夫			身体介護	身体介護	身体介護
30				夫	夫		
13:00		身体介護 移動介助	支援センター ピアカン	身体介護			
30							
14:00		家事援助			支援センター ピアカン会議	夫	夫
30							
15:00		夫		夫			
30							
16:00	夫						
30	家事援助	家事援助			家事援助	家事援助	家事援助
17:00			身体介護	身体介護			
30	身体介護	身体介護			身体介護	身体介護	身体介護
18:00							
30							
19:00	夫	夫・教会信徒	夫	夫	夫	夫	夫
30							
20:00							
30							
21:00		夫					
30							
22:00	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護	身体介護
30							
23:00	夫	夫	夫	夫	夫	夫	夫
30							
24:00:00							

注) 上記の文章および表は、EUさん本人が記入した「ケース記録用紙」から作成した。

#### 4-2 EKさんの事例

##### (1) EKさんのプロフィール

先にも述べた通り、本人の希望により、EKさんについてはプロフィールを掲載しない。

##### (2) EKさんの1週間

2004年1月19日(月)

##### 起床、友人Aの訪問

8時30分、起床する。前日は仲間と食事会をして二日酔い気味だったので、いつもより起きるのが遅かった。入浴は自分で湯を入れてゆっくりと(半身浴40分)入る。髭剃りは電動シェービングを使い、指先で確かめながら剃る。髪は入浴のたびに洗い、ドライヤーで乾かす。ブラッシングし、毛先などは指で整える。顔に乳液と化粧水、リップクリームをつける。

その後、1人で洗濯をする。洗濯は洗濯粉をスプーンで入れてスイッチをおす。サッシの戸を開け、物干し台の竿に洗濯物を干す。色物は裏返しにするため、脱いだときに全て裏返しにしている。干すもののしわをのぼして、ピンと張るようにしてハンガーにかける。

1枚ずつ指で間隔をそろえてかけていく。10時30分に恋人から電話があった。

12時に友人Aが訪問し、昼食は彼女が作ってくれた。彼女はおむすびを持参し、ラーメンと一緒に食べた。その後、2人でのんびりとした時間を過ごした。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：恋人による食事作り(20分)

##### 1人の夕方

彼女が帰宅した後、夕方になったので洗濯物を取り込む。裏返してあるものを元に戻してたたむ。そして、それぞれ決まっている場所にしまう。

本記録用紙を記入するため、18時に電話が掛かり、口述し筆記してもらう。(ピアサポートセンターのピアカウンセラーによる)

18時30分、自分で夕食の準備をする。冷凍ご飯とレトルトどんぶりの具を器に移したものをレンジで温める。洗い物は洗って水切りかごに入れておき、その間に歯磨きをする。その後、布巾でふいて食器戸棚に納める。

この間、テレビはずっとつけておいて音を聞いている。

21時、ソファに布団を置いて就寝した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

2004年1月20日(火)

##### 家事援助ヘルパーの訪問

6時に起床し、いつものように入浴・整容・洗濯を済ませる。

9時、家事援助ヘルパーが訪問する。買物は、冷蔵庫の残り物は量も含めてすべて自分で覚えているので、買ってきて欲しいものを言い、ヘルパーにメモしてもらい、買いに行ってもらおう。(冷蔵庫の確認等はしない) また、掃除は、居間・台所・浴室・トイレに掃除機と雑巾がけをしてもらう。浴室は結露がひどいので、洗った後、水滴をぬぐってもらっ

ている。

調理は、材料・切り方・味付けなど指示して作ってもらう。唐辛子・にんにくなどをよく使い、辛いものが多い。昼食と夕食2回分を作ってもらう。できあがったら、1度に食べる分量ずつを皿に盛り、ラップをかけて冷蔵庫に入れておいてもらう。また、ご飯も1週間に1度くらいの割合で炊き、1食ずつ小分けにして冷凍している。

ヘルパーがいる間に昼食を食べ、片付けてもらい、12時にサービスが終了した。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる家事援助（3時間）

支援費以外の社会資源：なし

#### スポーツ交流センターへ外出

13時、ガイドヘルパーとともにスポーツ交流センターAに出掛ける。移動は通称「福祉バス」という東広島市社会福祉協議会の移送サービス（無料）を利用する。

筋力トレーニングは、自分でメニューを決め、ヘルパーに介助してもらいながら（おもりの調整など）する。トレーニング室の受付に利用者のファイルがあり、それを受け取って、ヘルパーがエアロバイクの数字を合わせたり、おもりの調整をしている。場所（マシン）を移動するときには手引きしてもらう。センターの利用は、慣れたヘルパー3人でローテーションしているのでスムーズにできる。重さに慣れたら重くしていく。今のメニューは楽になってきているので、もう少し増やそうかと思っている。

16時30分に自宅に到着してから、ヘルパーには書類の記入のほか、代読してほしいもの（郵便物等）を読んでもらった。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Bによる移動介護（4時間）

支援費以外の社会資源：社会福祉協議会の移送サービス

2004年1月21日（水）

#### 自宅での午前中

夜中に目が覚め、4時くらいから眠れなくなったので、4時30分に起床した。餅をレンジで温め、コーンポタージュ・プロテインと合わせて朝食とする。片付け、歯磨きを済ませた。その後、コーヒー（ブラック）を飲みながらゆっくりした。コーヒーはインスタントの粉をスプーンでカップに入れ、電気ポットの湯を注ぐ。ポットの湯がなくなれば、自分で水を注ぎ足す。

8時、いつものように入浴と洗濯を済ませ、またコーヒーを飲んで、パソコンを出した。先日、読みあけソフトを入れてもらい、ノートパソコンの操作練習を始めたばかりである。ところが、今日は起動してくれず、音が全くしない。いろいろ試してみるが、操作できない。明日のデイサービスに持って行って、OTのIさんに教えてもらおうと思った。

11時30分、昼食にインスタントラーメンを食べ、用事を済ませてヘルパーを待った。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

#### ガイドヘルパーと外出

13時、ガイドヘルパーと共に徒歩で図書館へ行き、興味のある本を読んでもらう。また、近くのショッピングセンターへ行き、お茶を飲んでから本屋に寄る。ヘルパーに表紙などを読んでもらって、欲しい雑誌を探したが、この日は特になかった。あれば買って写真（デ

ザイン) など説明してもらおうと思っていたのだが…。今日は、行くときは雪がピューピュー吹きつけてすごく寒かったが、帰りは大丈夫だった。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Bによる移動介護（4時間）

支援費以外の社会資源：なし

2004年1月22日（木）

#### デイサービスの利用

10時、女性職員のNさんが1人で小型の車を運転して来て、車を道路に止めて玄関まで迎えに来てくれる。手引きして車に乗せてくれる。アパートに来る道がせまいので、そうしているのだと思う。その後、歩行ができるTさん夫婦を迎えに行き、デイサービスセンターTに到着する。デイの部屋までNさんに手引きしてもらって行き、窓際の喫煙用テーブルの前に座る。検温と血圧のチェックをしてもらい、たばこを吸ったり、コーヒーを飲んだりする。利用者のMさんがそばに来てくれて雑談する。

また、カラオケはデイの職員にそばで歌詞を読んでもらいながら歌う。KANの『すべての悲しみにさよならするために』を歌ったが、これは詞が好きで、EKさんが16～17才の頃の歌だ。昼食はとてもおいしくて全部食べた。もう少し食べたいくらいだった。トイレ等の際の移動は職員に手引きしてもらっている。

昼食後、OTのIさんにパソコンを見てもらうと、すぐに起動した。EKさんがよけいなことをしていたらしい。1時間ほど操作の練習をした。開くのも閉じるのも、ちゃんどできるようになった。

午後からのカラオケでは、森山直太郎『さくら』を歌った。バラードが多いのは、歌詞を読んでもらいやすい速度だからである。デイのメンバーには演歌を歌う人が多いので、あまり何曲も歌ったら悪いかとEKさんは思っている。

16時、デイサービスの送迎で自宅に帰る。

※) 支援費による社会資源：デイサービスセンターT

支援費以外の社会資源：なし

2004年1月23日（金）

#### 朝のトラブル

いつものように半身浴をするつもりでいたのに湯が出ず、入れなかった。また、外に置いてある洗濯機の方も昨日より水道が凍り水が出なくて、外に出てホースをはずしてみたり、いろいろしてみたがダメだった。仕方なく、コーヒーを飲みながらヘルパーを待つことにした。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

#### 家事援助ヘルパーの訪問

9時、ヘルパーが到着し、台所の水は出るので、掃除と調理をしてもらう。昼食には、インスタントラーメンに卵を入れて作ってもらい、ヘルパーがいる間に食べ、片付けてもらう。家事援助が12時に終了し、ガイドヘルパーの到着を待った。

※) 支援費による社会資源：ヘルパー派遣事業所Aによる家事援助（3時間）

支援費以外の社会資源：なし

2004年1月24日（土）

ある支援を受けない一日

6時に起床する。今日も寒いですが水は出た。いつものように入浴を済ませ、洗濯をする。

**洗濯**

洗濯物は部屋の中に干した。その後はコーヒーを飲みながら、ポーッと過ごした。

9時頃よりパソコンの練習を始めてみたが、字の位置がまだよくわからないので、なかなかうまくできない。

12時、昼食に納豆かけご飯を食べる。片付け・歯磨きの後パソコンを触っていたが、ポーッとする時間も多かった。

18時、本記録用紙を記入するために電話をしていたら、友人Aから携帯が掛かる。今夜、来るということであった。

夕食後、20時30分頃に友人Aが訪問した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：なし

2004年1月25日（日）

**冷蔵庫の交換**

この日は洗濯機の調子が悪く洗濯できなかった。いつものように入浴を済ませ、コーヒーを飲みながらテレビを聴く。その後、友人Aと冷蔵庫を交換することにしたので、中身を出して、ひとりで玄関に運んだ。

9時、友人Bが軽トラックで来てくれたので、ふたりで冷蔵庫を運んでトラックに乗せた。一緒に車に乗って出ると、途中、溶けかけた雪でスリップした。滑ったのがわかったので、「おい、おい」という感じだった。冷蔵庫を交換して帰宅し、中身を入れている間に友人Bが洗濯機を修理してくれた。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：友人による冷蔵庫の入れ替えと洗濯機の修理（3時間）

**兄の家で食事**

兄の家で食事することになり、19時に兄が迎えに来てくれた。いつも釣りに行って魚を食べさせてくれる。この日は刺身と鍋物を食べ、24時に帰宅後、就寝した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：兄による送迎と兄宅の訪問



(3) EKさんが1週間に利用する社会資源(2004年1月19日～25日の場合)

1) 社会資源の種類別にみる所要時間の内訳

種類 曜日	支援費による社会資源			支援費以外の社会資源
	デイサービス	家事援助	移動介護	
月曜				友人A 20分
火曜		事業所A 3時間	事業所B 4時間	社協移送サービス
水曜			事業所B 3時間	
木曜	デイサービスT			
金曜		事業所A 3時間	事業所B 4時間	社協移送サービス
土曜				
日曜				友人B 3時間, 兄家族
合計	1日	6時間	11時間	
備考		原則的には、家事援助を週3回、移動介護を週2回の割合で利用しているが、この週は家事援助2回・移動介護3回であった。		あがったもの以外に、友人Aによる訪問・電話が資源として存在している。

注) 上記の文章および表は、EKさんの口述をピアカウンセラーが電話によって聞き取り記入した「ケース記録用紙」から作成した。また、特別に記載がない場合、居宅介護については1人派遣である。

2) 1週間のスケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
0:00							
30							
1:00							
30							
2:00							
30							
3:00							
30							
4:00							
30							
5:00							
30							
6:00							
30							
7:00							
30							
8:00							
30							
9:00							
30							
10:00		事業所EA 家事援助			事業所EA 家事援助		友人B
30							
11:00							
30							
12:00				デイサービス			
30							
13:00	友人A	社協の移送			社協の移送		
30							
14:00		事業所EB 移動介護	事業所EB 移動介護		事業所EB 移動介護		
30							
15:00							
30							
16:00		社協の移送			社協の移送		
30							
17:00							
30							
18:00							
30							
19:00							
30							
20:00							兄家族
30							
21:00						友人A	
30							
22:00							
30							
23:00							
30							
24:00:00							

注) 上記の文章および表は、EK さんの口述をピアカウンセラーが電話によって聞き取り  
記入した「ケース記録用紙」から作成した。また、特別に記載がない場合、居宅介護  
については1人派遣である。

#### 4-3 ETさんの事例

##### (1) ETさんのプロフィール

###### 受障から退院まで

1994年8月31日、18才の時に大型乗用車とバイクの衝突事故に遭う。事故直後はCT異常無しだったのが、脳細胞が萎縮していて低酸素脳障害という宣告を受ける。1995年3月、東京の病院から広島県福山市にあるT病院に移りリハビリを開始する。その後、地元のリハビリテーション病院に転院し、理学・作業・言語療法を受ける。

友人の声かけが発端になり、広島大学の作業療法士を目指す1年生が病室に学校帰りに寄ってくれた。(約15万人)久しぶりに同世代の人たちと話が弾む。母親は少し離れたところにおいて、「通訳…」と呼ばれたときだけ行って、ETさんの言いたいことを通訳する。一定のルールを考えて、会話を楽しんだ。特に一人の男性は、夕食頃に来て、食事介助をしてくれながら話をしていた。

業者とOT・PT・ケースワーカーが家に来て、車イスで生活するために風呂・トイレ・洗面所などをバリアフリーになるよう計画した。

その後、バーを持ったり歩行器を持って少し歩けるようになったので、1996年3月、EA市民病院の理学療法科に頼み込んで3ヶ月間入院させてもらう。OTについての広大の実習生が、左手の指が伸びるような装具を作ってくれる。OTの先生とは友達感覚で、楽しくボールの上に腹ばいになったり平衡感覚の練習をする。また、右足のアキレス腱の延長手術をしたので、装具を付けて理学療法室の中を20週(約800m)を一人で歩くことが出来るようになってきた。OTと広大生の2人が改装した家を見に来てくれる。3ヶ月後、EA市民病院を予定通り3ヶ月で退院し週2～3回の通院に切り替えた。

###### 自宅から通所リハビリ

通院していたときに知り合った患者さんのお母さんから動作法(心理リハビリテーション)を紹介される。月1回、H町の身障者センターか広大で訓練があると聞いて行ってみた。広大の先生や養護学校の先生たちが、看護教育課程にいる大学生や親たちを対象に、カチカチになった体をほぐして動作しやすくなる方法を講習していた。ゆっくりと体を伸ばすやり方で、最初は生ぬるい方法だと思ったが、この動作法に関する例会には今でも休まないように行っている。

また、年1回「キャンプ」と称した1週間の訓練があり、養護学校教員・作業所職員・身障者の教育に興味がある学生が、認定を受けるために大変なレポートを書き、障害者(トレーニー)の体を動かしてくれる。親も一日中いろいろな仕事があり大変だが、辛いキャンプでも本人の体が動きやすくなったり、楽しいのならと毎年キャンプに参加している。さらに、県立リハビリテーションセンターの敷地内にあるスポーツセンターで、機械器具を使ったりプールを利用したりとリハビリが出来るように考え、水泳レッスン、音楽教室に入った。そこで知的障害のある息子さんを持つEBさんに「今度新しく知的障害者の作業所が出来るけど、あなたも言って聞いてみたらどうか」と教えてもらい、市内の勤労福祉センター内の作業所を見学した。

###### 知的障害者授産施設に通所

知的障害者通所授産施設『EW』が1997年6月に開所するが、その前にまだまだリハビリを続ければもう少しちゃんと歩けるかな、もう少し人に分かってもらえるように話せる

かなと考え、EN病院の長期療養型病棟に入院する。

療育手帳の取得は困難であるということで、EW授産施設の相互利用制度により利用申請をおこなった。親子とも、施設がどんなところか、本人が何も出来ないので迷惑をかけるばかりばかりではないか、体が余計に緊張するのではないかなどの不安があり、実際の利用にはなかなか踏み切れずにいた。そんな不安の中、病院のリハビリにも限界を感じてきたため、1998年1月、EW授産施設に通い始める。当初1ヶ月は母子で通ってみた。職員はETさんより少し年上で、利用者のほとんどが同じ年齢であった。動きにくい手で、ふやかした牛乳パックをちぎったりビニールをはいだりという作業を行なった。本人が「ここに通いたい」と言い、本格的な通所に踏み切った。

ETさんは視力がほとんどなく、手もボタン1つしか押すことが出来なかったが、言葉は理解できるので、自分の思いを人に伝えるためにもパソコンを使ってみないかと広大のEW先生からアドバイスを受ける。音声に従ってボタンを押すとその言葉がキーボードに打ち込まれる設定のパソコンを購入した。「ア行です」(スイッチを押す)…「ア・イ・ウ…」と読まれてその音にくるとスイッチを押すという気の遠くなるような作業であったが、少しずつ慣れてきて文章が打てるようになった。すると次は「友だちとメール交換がしたい」という訳で、広学の研究生とEW先生がソフトを組み合わせたり、プログラムを組んでくれたりとして、東京時代(高校・大学)の友達やボランティアの学生とメールのやり取りができるようになった。女性ともメールのアドレスを交換したり…。

#### 支援費導入の前後

ET身体障害者療護施設にデイサービスが始まった。1週の中日本曜日に利用し、ゆっくり陶芸やカラオケをして昼からゆっくりお風呂に入れてもらうことにする。また、EW授産が3時50分に終わると、週2回は理学療法を受け、週1回は言語訓練、残りの1日はスポーツセンターに通いと忙しい日々を送っていた。

1999年、『さぽーとせんたーかもみる』が開設し、会員制有料サービスにより、「ロックのコンサートはどうしても同世代の若者と行きたい」ということで若い人のガイドヘルプサービスを受ける。ホームヘルプサービスの利用は2001年4月より開始した。2002年、翌年に支援費が導入されると、デイサービスか授産施設かを選ばなくてはならないということで授産施設を選んだ。他に、現在は週2回の身体介護で入浴介助を受けている。また、母親が趣味の活動を楽しむときには、支援センター『かもみる』によるサービス(有料サービス+外出介護)を受けたり、ヘルパー資格を持つ近隣の友人が見守りで関わっている。

パソコンについては、新しいソフトを導入し、自分からメールが送ることが出来るようになった。しかし、目の見えないにETさんには複雑で課題が多い。盲過程を専攻している広大の学生が使い勝手の悪いところを改良しながら、2週間に1度くらいの割合でコーチに来ている。

#### (2) ETさんの1週間

2004年1月15日(木)

#### 朝のケア

9時30分に起床し、母親がETさんの体を起こし、後抱えで支えて洗面所へ連れて行く。

尿を採り、髭をそり、熱いタオルで顔を拭き、目を覚まさせる。火曜日と水曜日は授産施設から迎えが来るので8時に起こすが、前夜はなかなか寝つけなかったのが今朝は遅刻した。睡眠不足が続くとてんかん発作が起きることが多いので、母親は、本人が目覚ますのを待つことが多い。

軽い朝食を済ませ、歯を磨き、服を着替えて、母親の車に乗せて通所授産施設に連れて行く。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：母親による朝のケア（1時間10分）、送迎（10分）

#### 授産施設での1日

10時50分、授産施設に到着後、午前の作業を始める（和紙班）。

事務用の卓上カッター（カッター部分は回転式で持ち手部分に隠れており、それを押し引きすることで紙やシールを切断していくもの）を机に固定し、右手でカッターの持ち手のところを持ってもらい、菓子班で使う商品のシールを切っていく。持ち手の部分は本人の右手のふくらみに合うよう、発砲スチロールを削ってつけてある。いろいろおしゃべりしながら、目標枚数を決めて取り組む。しかし、あまり多くはできなかった。職員はシールのセットを行い、切断の部分は1人で行ってもらっている。昼食前に決まってトイレに行くが、介助は職員1人体制で行なっている。

12時より、職員の介助で昼食ととる。右手に柄の部分が曲がるスプーンを持ち、ご飯粒は全体量の半分くらいまで介助者と一緒に口まで運ぶ。おかず類は始めから介助者が口に運ぶ。ETさんは食欲が旺盛で、ほとんど残したことはない。食後、職員の全介助により歯磨きを済ませるが、細かなところまでしっかり磨くよう要望が絶えない。

13時に午後の作業を開始する。牛乳パックを柔らかく煮て、商品ラベルと紙の部分をわけるため、フィルムをはがす作業を行う。左手に牛乳パックをもち、半分フィルムをあらかじめはがしておいて、本人が右手で残り部分をはがしていく。時間はかかるが、左手にあらかじめパックを持っていたら自分ではがすことができる。調子の良いときは1時間弱で20枚ほどはがすことができる。

14時20分より、作業から離れ、リラクゼーション活動をおこなっている。この日は歩行と寝返り（2～3回）、腕や足の曲げ伸ばしを中心に行なう。疲れている様子のときは眠ってもらうこともあるが、いつも意欲的に体を動かしている。帰宅前のトイレは必ず行くようにしている。

※) 支援費による社会資源：知的障害者通所授産施設

支援費以外の社会資源：なし

#### 病院でのリハビリテーション訓練

16時前、母親が授産施設にETさんを迎えに行き、車で15分くらい離れた病院に行く。ETさんは、そこで理学療法（立って歩く訓練）と言語訓練をしている。この日は、言語訓練が18時～19時頃までであった。先生が「今年の目標は左手（今まで右手で訓練していた）でつまんだり、持ったり、自分で食べ物を口に持っていけるようにしよう」と言ったので、少し長いパンや砕けにくいカールを買って帰宅した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：病院によるリハビリテーション訓練（1時間）

: 母親による病院の付添い (3時間 40分)

#### 自宅での夜

19時40分、自宅に帰り、楽しみにしていた1時間ドラマを2本観ながら夕食をペロリと食べた。『エースをねらえ』は昔マンガを読んだことがあったらしく、画面は見えないが、耳でテレビを楽しんだ。

23時40分に就寝した。

※) 支援費による社会資源: なし

支援費以外の社会資源: 母親による夜のケア (4時間)

2004年1月16日(金)

#### 朝のケア

8時20分、この日は授産施設の送迎があるので早めに起床するが、昨晚、この寒い中で猫が帰ってこなかったことが心配でなかなか眠れなかった様子であった。パン1個とコーヒー・ヨーグルトをようやく食べ終わり、慌てて出て行った。

今は何とか家での移動は歩いているが、母親は「私がいつまでできるのか」と思う。車イスでの移動になってくるだろうか。緊張でお腹が反って屈むのが苦手なので、とにかくトイレや椅子に座らせるのがとても難しい。

※) 支援費による社会資源: なし

支援費以外の社会資源: 母親による朝のケア (1時間)

#### 祖母の家を訪問

従来であれば授産施設の送迎で帰宅するが、この日は母方の祖母(去年祖父が亡くなり、同居の息子は日中不在で夜も帰りが遅く3食1人で食事している)がカーテンを選んで欲しい等、その他いろいろな用事があるというので、家族3人で夕方から大阪へ行くため母親が迎えに行く。土日は、在宅支援センターも混みあうし、登録しているショートステイは、土・日の行事は少なく、ETさんのように常時の介助が必要な人にとっては退屈極まりないらしい。

途中、吉備サービスエリアで食事を済ませた。ETさんは、食事は全介護であるが外食が大好きで、土・日に一度も外に出ないときなどは、せめて夕食だけでも外に食べに行きたがる。

21時、大阪住吉区の祖母の家に到着する。祖母の家は最近バリアフリーにし、居間の押入れをトイレに替えたので、ETさんにとってとても便利になった。この日は『風の谷のナウシカ』を遅くまでテレビで観て、23時より風呂に入り24時に就寝した。

※) 支援費による社会資源: 知的障害者通所授産施設

支援費以外の社会資源: 両親によるケア (8時間 30分)

2004年1月17日(土)

#### 祖母の家での1日

8時30分頃に1度目を覚ましたが、雨なので、母親が「もう少し眠ったら?」と言うと、すぐにまた眠った。10時に起床し、髭剃り・歯磨き・洗面を済ませる。朝食には、パン・コーヒー・ヨーグルト・みかんを食べた。

昼食は、1日1度は外の空気を吸うために、車イスで5分のファミリーレストランでゆっくり食事する。帰宅後、カーテン屋がサンプルを持参して訪問し、祖母と母親がカーテンを選んでいたら、横で「明るいピンク系が合う」とETさんが意見を言う。結局5種類選んで、仕立ててもらおう前に持ってきてもらうことにする。

その後、足が悪い祖母と居間の食堂でずっとテレビを観ている。チャンネル権はETさんが握っていて、母親がテレビ欄を読む。ETさんはテレビっ子だったせいか、両親にはよくわからない「フジ」「テレ朝」「日テレ」「読売」と東京のチャンネル名で言うので、「広島?」「新広島?」「RCC?」といつも聞きなおすことになる。面白い番組がないときは「チャンネルを変えてくれ」としょっちゅう呼ばれる。ボタン1つでチャンネルが変わる変換器も取り寄せたが、すぐに電源が切れてしまって、あまり役に立っていない。

夕食にちゃんこ鍋を食べた後、『釣りばか日誌』を観てげらげら笑っていたが、前に観たことがあったためか「違う番組に変えよう」と言った。自宅以外ではリハビリの道具もないので、どうしてもテレビ漬けになってしまっている。ETさんは、クイズ番組・しゃべりの多い番組・映画・お笑いが好きなようである。話題性のあるスポーツも必ず観る。その後、風呂に入り、22時に就寝した。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：両親による終日のケア（12時間）

2004年1月18日（日）

祖母の家から帰宅

午後、母方の家から帰る途中に父方の祖父母を訪ね、夕食を済ませた後、21時に自宅に帰る。ETさんはくたびれた様子だったが、風呂にゆっくりつかって疲れがとれた様子だった。

寝つけなかったり、どうしても深夜の番組が観たかったりしたときは、しょっちゅう両親が呼ばれて、「布団の中に手を入れてほしい」「背中が寒く服があがっている」等と頼む。両親が眠いときはけんかになるのだが、この夜は珍しくあっさりと眠った。

※) 支援費による社会資源：なし

支援費以外の社会資源：両親による終日のケア（13時間30分）

2004年1月19日（月）

夜のケアサービス

いつものように授産施設を利用し、その後、病院のリハビリテーション訓練をおえて、18時30分に帰宅した。この日は、週2回の割合で利用している身体介護の日である。

19時15分、女性ヘルパーが2人訪問して入浴介助を受ける。風呂場からは、笑いながら入浴している声が聞こえてくる。鼻パック・髭剃り・目薬・耳掃除など、どんどん要求は増えていくが、ヘルパーは上手に対処している様子である。

その後、夕食を済ませ、テレビを観て23時30分に就寝する。

※) 支援費による社会資源：知的障害者通所授産施設、支援センターによる身体介護2名派遣（1時間）



支援費以外の社会資源：母親による朝のケア（1時間30分）、病院の付添い（2時間30分）、夜のケア（4時間）、病院によるリハビリテーション訓練（1時間）

2004年1月20日（火）

母のコーラス

いつものように授産施設を利用し、16時15分に施設の送迎車で帰宅する。

この日は、母親がコーラスに参加するために外出する。父親が帰宅するまでの1時間30分程度、母親の友人がETさんの見守りを担当している。母親の友達は6時30分過ぎに訪問し、ETさんと一緒におやつを食べた。

母親は帰宅するが、ETさんを風呂に入れる余力がなく、何とかなだめてベッドに入れた。ベッドに入ってから何かと用事をいつけていたが、母親が手足を擦っていると眠った。

※）支援費による社会資源：知的障害者通所授産施設

支援費以外の社会資源：母親による朝のケア（1時間15分）、夜のケア（5時間45分）、母親の友人2名による見守り（1時間30分）

2004年1月21日（水）

パソコンの練習

事業所A（支援センター）の職員Nさんとパソコンの練習をする。ウィンドウズXPにH大学の学生が音声入力とボタン1つで打てるソフトを作ってインストールしてくれた。ワープロ打ちができるようにやってみるが、思いがけない場面が出てきて、1言打つのにとても時間がかかる。複雑になってくればくるほど大変になる。

まだまだ改善してもらわないといけないので、作った学生に来ていただいて、一緒にやってみて、プログラムを改良してもらうように連絡する。慣れるまで、支援センターに来ていただく。

その後、19時より 身体介護で引き続き入浴介助を受ける。

※）支援費による社会資源：支援センターによる身体介護2名派遣（1時間）

支援費以外の社会資源：支援センターによるパソコン支援（1時間）



2) 1週間のスケジュール

	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日
0:00							
30							
1:00							
30							
2:00							
30							
3:00							
30							
4:00							
30	両親	両親			両親	両親	両親
5:00							
30							
6:00							
30							
7:00							
30							
8:00							
30						母親	
9:00		母親					母親
30					母親		
10:00	母親						
30							
11:00		授産施設					
30			両親	両親			
12:00						授産施設	授産施設
30							
13:00	授産施設				授産施設		
30							
14:00							
30							
15:00							
30							
16:00					母親		
30							
17:00	母親						母親
30						母親	
18:00	病院				病院		支援セン
30	リハビリ	両親			リハビリ		パソコン
19:00							身体介護
30						母の友人	2名派遣
20:00					身体介護		
30					2名派遣		
21:00							
30	両親						
22:00					両親	両親	両親
30							
23:00							
30							
24:00:00							

注) 上記の文章および表は、ET さんについて母親が記入した「ケース記録用紙」から作成した。尚、ショートステイに登録しているが、祖母の家に訪問したこと、また母親・ET さん共に現在のプログラムに不満を持っていることからこの週は利用していない。また、特別な記載がない場合、居宅介護については1人派遣である。